●10月は経済と地域社会発展月間・米山月間です。
室蘭北ロータリークラブ
会報 室蘭岳 むろらんだけ
Rotary
2023～2024年度　国際ロータリーテーマ
CREATE HOPE in the WORLD
「世界に希望を生み出そう」
世界に希望を生み出そう　2023～2024年度 RI会長　ゴードン R. マッキナリー

2023年10月24日(火)　第2440回　例会

第2510地区　日本 (DISTRICT 2510 JAPAN)　●会長：藤井　徹也　●幹事：岸田　理　●編集：クラブ会報委員会

本日のプログラム

夜間例会「クラブフォーラム」

奉仕プロジェクト委員会
社会奉仕委員会

和食（生ちらし寿司、小鉢、茶碗蒸し、お椀、甘味）

次回の予定プログラム

会長・幹事懇談会　10：30
※出席義務者　会長・会長エレクト・幹事

第3回クラブ協議会　11：30

ガバナー公式訪問　12：30

※ご都合お繰り合わせの上、是非ご出席いただき出席100%になりますよう宜しくお願い致します。

洋食ランチ（コブサラダ、オニオングラタンスープ、チキングリルソースシャスール、パン、バター、デザート）

ニコニコBOX

入井浩樹様（卓話にあたり）
本間信（地区大会参加いたしました）
川本康裕（入井委員長卓話ありがとうございます。地区大会（本会議）参加メンバーご苦労様です）
藤井徹也（地区大会行ってきました）
米塚豊（入井地区委員長卓話ありがとうございます）
宮本秀樹（寒くなってきました。お体気をつけてください）
小野寺浩二（ゴルフ同好会コンペ無事終わりました。納会出席お願いします）
内池秀光（地区大会行ってきました）
赤崎幸三（地区大会ゴルフ3位入賞につき）

各種記念日

創立記念日　及川　力 会員　10月17日

出席報告

会員数	49名	出席者数	23名
出席免除者数	0名	欠席者数	26名
出席義務者数	49名	出席率	46.93%

前回までの例会の報告

第2439回（10月17日）例会記録

本日のゲスト

地区米山記念奨学会・学友委員会
委員長　入井　浩樹 様（滝川RC）
米山記念奨学生
アニス・ジャズワニ・キスティナ・ビンティ・ヒシャム 様

［会長報告］

1．地区大会の報告
地区大会にて夏季の会員が表彰されました。記念品を贈呈致します。
【永年出席100%会員表彰】
15年　松田博文 会員

2．国際ロータリー日本事務局より
「End Polio Now;歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状が届きましたので回覧致します。

［委員会報告］

1．青少年奉仕委員会　本間寛莱委員長より
10月21日(土)イタンキ浜清掃について
集合　10時(13時まで)
場所　イタンキ浜駐車場
動きやすい服装、防寒対策をお願いいたします。持ち物は特にありませんが、お昼は用意しておりませんので、お昼を取られたい方は軽食をお持ちください。

●例会場　アパホテル室蘭
●例会日　毎週火曜日　12：30　P.M.
●事務所　室蘭市中島町2丁目28-6
●電話　0143-45-6569　●FAX　0143-50-6578
●URL　http://murokita-rc.org/
●E-mail　mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp

前回例会のプログラム

卓話「米山記念奨学事業と危機管理」

地区米山記念奨学会・学友委員会
委員長　入井　浩樹 様（滝川RC）
プログラム委員会

　改めまして、米山記念奨学・学友委員会委員長を仰せつかっております、滝川ロータリークラブ所属の入井で御座います。本日は、歴史ある室蘭北ロータリークラブ様に　お招きを頂き誠にありがとうございます。本日、お話をさせて頂く内容は米山記念奨学事業の若干のご説明と米山奨学生に対する危機管理のご説明をさせて頂きたいと思います。また、米山奨学事業については、米山豆辞典に細かく、分かりやすく記載いされておりますのでお手すきの時間にご一読頂ければと思います。

日本のロータリアンの夢

　もう、皆様はご存じかと思いますが、ロータリー米山記念奨学事業の始まりを、振り返ってみたいと思います。

　日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなったあと、その偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい、という思いから1952年、東京RCが始めたものです。当初は、アジアから優秀な学生を招いて勉学を支援するもので、「米山基金」という名前でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい、という当時のロータリアンたちの強い願望がありました。それこそがロータリアンの夢だっと思います。

　その後、財団法人化を経て、1999年から、全ての国と地域の留学生が採用対象になりました。

　ロータリー米山記念奨学事業は、始まりから一貫して、日本で学ぶ優秀な外国人留学生を対象としています。これまで、2023学年度採用者を含めて、131の国と地域の留学生が米山奨学生になりました。

　米山奨学事業は、日本のロータリー独自の活動として作られ、発展してきました。このため、国際ロータリーとは一線を画す状況が続いていたそうです。そうした関係が次第に変化してきたのは2000年に入ってからだそうです。

　2004年11月のＲＩ理事会では、「奨学金の授与を通し、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を称賛する」とされ、ロータリー米山記念奨学会が「多地区合同活動」の手続きを取ることにより、ロータリーの名称やロータリーのロゴマークを今後も引き続き使用することを認める、ということが決議されたそうです。

1960年生まれ。
新十津川ボデー工業株式会社取締役。
有限会社新十津川商事取締役。
趣味はバイクで旅行。
ロータリー歴
　2015年12月3日　滝川ロータリークラブ入会
　2018年～2021年
　　第2510地区米山記念奨学会地区副委員長
　2021年　滝川ロータリークラブ幹事
　2022年～
　　第2510地区米山記念奨学会地区委員長

　米山奨学事業の最大の特長は、「世話クラブとカウンセラー制度」です。毎月1回以上、奨学生が例会に出席し、地区行事も含めたロータリー活動に参加し、奨学金を受け取るだけではない「顔の見える交流」を行うためにカウンセラー様は日本でのお父さん、お母さん的な役割が重要になって来ます。

　米山記念奨学事業の使命は、「将来、日本と世界とを結ぶ【懸け橋】となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること」です。

　次に当地区の2023学年度米山奨学生数をご紹介いたします。
2022学年度（石丸年度）からの継続奨学生：　4名
2023学年度（松浦年度）の新規奨学生　　：13名
海外応募学生1名で　　合計18名
　国別では、サウジアラビア1名、ドイツ1名、マレーシア2名、ベトナム2名、韓国3名、中国6名、台湾2名、スリランカ1名で御座います。

　ここで奨学生数の決定から選考、そして世話クラブ決定までのスケジュールを見てみましょう。
6月：奨学会で地区割当数を決める。
　・地区米山選考委員会は指定校を毎年選定する。
　・学校説明会を開催し要望を伝え米山奨学生にふさわしい留学生を推薦してもらえるよう努める。
7月：指定校と被推薦者数を決める。
8月：募集スタート
　・米山記念奨学会ホームページで指定校、募集要項を発表。
11月：面接官オリエンテーション
　今年は11月3日ガバナー事務所横の貸会議室

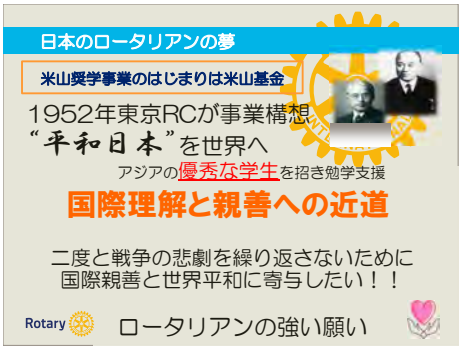
12月：書類選考と面接試験、12月末に合否の発表。
　　12月11日ロイトン札幌
1月：世話クラブ選考。
3月：奨学生終了式、カンセラーへの感謝状授与式
4月：奨学生オリエンテーション
　　カウンセラー研修
　このスケジュールはごくごく一部でございます、当委員会は1年間、12ヶ月、何かしらの活動が御座います。

　それでは会員の皆様から頂く「よくある質問」を見てみましょう。

■発展途上国の留学生は歓迎すべき、しかし日本を越して世界第二の経済力を誇る中国人留学生に奨学金を支給するのは疑問！しかも社会主義国なのでロータリーの奉仕理念を広めるのは困難では！
日本の高等教育機関学ぶ留学生のうち中国国籍の留学生が約46.6％を占めるのが影響している、少々古いカウンセラーアンケートではあるが約60％が経済面より優秀性を重視すべき！
奨学生は卒業してから帰国後に奉仕理念を拡散する義務が有るが優秀な奨学生は日本に残り就職し築き上げた知識を日本の為に活かして頂けます、米山奨学事業の本来の目的から外れていますがそれはそれで良いのでは。

■反日報道の多い国からの留学生をなぜ支援するのか？
ロータリーは国や民族、文化、職業の異なる人々を結び合い、国際理解、親善、平和を推進することを目的としています。米山奨学金は「平和日本」を世界に伝え、戦後の国際親善に寄与したい、という願いから、日本のロータリアンによって設立されました。どこの国からの留学生であれ日本で学びたいという夢を持って来日しています。国籍で判断せず、また、国家間の問題を個人に置き換えることなく、一人でも多く日本の理解者、日本の友人を作る事が米山奨学事業の使命で有ると思います。

■日本の若者を支援しないのですか？
経済的に貧しく進学できない人もいますよ！
経済的に貧しい日本人は対象になりませんか？
東京RCが設立した、アジア諸国からの優秀な学生を日本に招き勉学を支援する「米山基金」の構想理念、そして1967年の財団法人設立趣意書に基づき一貫して外国人留学生を対象としています。2015年3月の常務理事会でもこの方針を改めて確認されました。東日本大震災遺児を支援する「ロータリー希望の風奨学金」グローバル補助金や地区補助金よる奨学金で日本人学生を支援することが可能です。



❖QRコードから
パワーポイント
資料が観覧
できます。

2023-2024年度国際ロータリー第2510地区、地区大会

藤井　徹也 会長

10月14日（土）　会長・幹事会　於グランドパーク小樽

松浦光紀ガバナーの点鐘で、RI会長代理の第2570地区パストガバナー服部陽子様（東京広尾RC会員）にご列席いただき地区大会がスタートした。大会決議案上程・承認、22-23年度決算報告・監査報告、など粛々と進み、指導者育成セミナーへ。本年は第2580地区立法案検討委員長の土居岩生様（東京お茶の水RC会員）の講演「ロータリーの基本理念」と、後半は20グループに分かれてのグループセッション（100分間）という今までにないプログラムであった。

その後、RI会長代理歓迎晩餐会が開かれた。第9グループの参加者と懇親を深め、最後は恒例の「手に手つないで」で締めくくった。

10月15日（日）　本会議　於小樽市民会館

恒例となった室蘭RCメンバーと乗り合わせのバスにて早朝室蘭を出発し、無事小樽到着。

当クラブからは会員12名、アクト2名、米山奨学生1名事務局1名の計16名の参加。

RI会長代理の服部陽子パストガバナーのご挨拶、道知事代理、小樽市長代理からご祝辞を頂き、RI現況、地区現況の後クラブ紹介が行われた。今回は「動画で」との地区からの指示もあり、ほとんどのクラブが動画にて自クラブの紹介を行ったが、バラエティに富んだ内容で大いに盛り上がった。午後からは「テルマエロマエ」で有名なヤマザキマリ様による記念講演が行われた。自身の生い立ちからくる「人生観」と、「日本人とイタリア人の考え方の違い」など、大変興味深いものであった。又、お母様が札幌交響楽団の創立メンバーで、北海道に縁があることも知り、一気に親近感が湧いた。各種表彰などがあり、その後グランドパーク小樽に移動し、「記念懇親会」が開かれた。大小3つの会場を使用してのまさに「大懇親会」であった。ローターアクトのアピールの場もあり、前夜の晩餐会とは違う盛り上がりであった。帰りも同じく室蘭RCメンバーと相乗りで社内でも懇親を深め、無事にアパホテル室蘭へ帰還した。

第2回クラブ協議会　議事録

日時：2023年10月17日（火）18：30～
場所：アパホテル室蘭　3階
出席者：藤井徹也・岸田　理・小野寺浩二・赤崎幸三
猪俣英二・菅原正明・太田義則・廣瀬　禎
川本康裕・川原陽一・宮本秀樹・田中健太
本間寛菜・斉藤聡（文責）

協議事項①　ガバナー公式訪問について（最終確認）

＊添付資料
2023－2024年度ガバナー公式訪問式次第（案）
〃　席次（案）
〃　例会席次他（案）
10月31日（火）
10:30 ～　会長・幹事 懇談会
11:30 ～　クラブ協議会
12:30 ～　例会（ガバナー講話）

＊ドレスコードはジャケット・ネクタイ・バッジ着用とする
＊出席義務者のうち委員長が欠席の場合は、そのトップの委員長を代理とする
＊入会3年未満のオブザーバー参加はいない見込み
＊各委員会の活動計画の発表は2分程度とし、なるべく行間に込めた思いを発言する
＊ガバナーへの質問は時間の状況をみて幹事（司会）が判断をする
＊協議会の名札（下げ札）の確認は副幹事が行うこと
＊食事は通常例会よりもグレードアップする
＊米山記念奨学生アニスさんは出席、ロータアクトは確認中
＊オープニングセレモニーは予定通りするが、ガバナー卓話の時間を考慮する

協議事項②　その他

＊特になし